

建築・土木



「廃棄物」とは呼ばれない
「石炭灰」は「最高の資源」

この製品のこだわりを教えてください！

インタビュー

代表取締役

西口 泰宏

Nishiguchi Yasuhiro

「Eアンダー」は、県内の火力発電所から出される石炭灰を有効活用した路盤材で、強度と透水性が他と違います。これまで最終処分場に埋め立てていたものを再利用し製品化することで、地域の循環型社会の構築やエネルギー問題に貢献していきます。



強度と透水性がひと味違う路盤材

E アンダー

製造者：ABC開発株式会社

例えばこんな使い方

- ☐ アスファルト舗装工事の路盤材として
- ☐ 土木工事の際の路盤材や基礎碎石として
- ☐ 造成工事の盛土材(埋め立て用碎石)として

「E アンダー」は県内の火力発電所から排出される石炭灰を無害化し再利用した路盤材です。特徴は従来の碎石と同程度の強度を持ち、透水性の高いところ。路盤材の中でも上層路盤材は、アスファルト舗装の仕上がりや耐久性に影響を与えるため、特に強度が求められます。「E アンダー」は、石炭灰（フライアッシュ）^{*1}を混練・固化した後、採石

場の原石と混合し、まとめて破碎することで、強度と透水性を兼ね備えた製品となっています。石炭灰の質は搬入ごとに異なるため、添加物や水分の量を小まめに調整し、製品強度を維持しています。また、自社の舗装業の経験を生かし、耐久性と排水性の高い路盤を整正することができるよう、品質にこだわって製造しています。

製造工程

① 原料の投入



県内の火力発電所で発生した石炭灰（フライアッシュ）と、セメント、生石灰を専用プラントに投入する。

② 混練・固化



3つの原料を混ぜ、水分を含ませて練り合わせた後、固化させる。



③ 混合・破碎



混練・固化した石炭灰に、自社採石場で採取した原石をブレンドし、一緒に破碎して約4cm以下の碎石にする。

④ 完成



1日に最大 200m³製造。1万m³の製品を常備しており、急な需要にも自社のダンプカーで即日配送が可能。

*1 フライアッシュ：石炭を燃焼する際に生じる灰の一種。

お問合せはコチラまで



事業所名：ABC開発株式会社
所在地：松山市南高井町1337-2
TEL：089-993-7825
FAX：089-993-7826
<https://www.abcddev.co.jp/>

設立／平成17年6月 資本金／3,000万円
代表者／代表取締役 西口 泰宏 従業員数／60名
事業内容／石炭灰リサイクル・アスファルト舗装・運送業・
不動産業・太陽光事業



施工事例



舗装工事

舗装工事で上層路盤材として使用。「Eアンダー」の強度と透水性が舗装を強化し、アスファルト表面にたわみやひび割れも起こらなくなる。



駐車場の造成工事

造成工事の際に盛土材として使用。一般碎石と同じ強度があり、耐久性の高い仕上がりとなる。

仕様・販売価格等

- ・E アンダー (RM-25)^{*}：0～25mm…1,000円／m³ ※上層路盤材に使用
 - ・E アンダー (RC-40)：0～40mm…1,000円／m³
- 販売単位：1 m³単位で販売

※詳しくは左記までお問い合わせください。